

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



SCG066-01

会場:201A

時間:5月22日 10:45-11:00

ユビキタス質量観測計が跡津川断層中のガスを監視する Ubiquitous gas monitoring system observed gases in the Atotsugawa fault

村上 雅紀^{1*}, 角森 史昭², 杉本雅明², 田中秀実²

Masaki Murakami^{1*}, Fumiaki Tsunomori², Masaaki Sugimoto², Hidemi Tanaka²

¹ 京都大学, ² 東京大学

¹Kyoto University, ²University of Tokyo

断層はガスの通り道となるため、断層運動に伴って現れるガスを検出する試みは Sugisaki (1978) などによって数多く行われてきた。それから 30 年経った今、我々は四重極質量分析計とガス精製ラインを改造し、屋外でガスをリアルタイムで観測できるガス質量観測計 (GROWDAS) の開発に成功した。この装置の開発によって、地震前後で変動するガスの挙動を (1) 無人で (2) いつでも (3) どこでも観測することができ、(4) 誰でも (5) どこからでも断層から湧き上がるガスを監視することができるようになった。この装置を用いて 2010 年 12 月より岐阜県跡津川断層でガスの観測を始めたので、その結果を紹介する。